



校名  
岐阜県立大垣養老高等学校

所在地  
岐阜県養老郡養老町祖父江向野1418-4

生徒数  
695名(男264名、女431名)(2025年4月末時点)

創立  
平成17年(2005)年

学科  
農業科(動物科学科、食品科学科、園芸科学科、環境科学科)、総合学科(ビジネス系列、会計系列、情報系列、生活福祉系列)

つじの きよたろう  
辻野 清太郎先生  
生徒には社会人になってからも活躍してもらいたいです。そのためには自主性を育むことが大事です。失敗すると分かっているでも我慢して見守っています。間違いや失敗は高校生のうちなら許されるので、試行錯誤して大いに悩んで学びを深めてもらいたいと思っています。



大垣養老高等学校には農業科と、商業科・家庭科の総合学科がある。1年生は学科群ごとに共通カリキュラムで学び、2年生からは興味や関心、進路希望に合わせて学科に分かれて専門分野を学習する。同校には畜産農家の生徒はほとんどいない。同校が立地する西濃地域は主に水稻を生産しており、畜産が盛んな岐阜県北部とは違い、1学年に1人いるかないかだという。生徒を指導する辻野清太郎先生は言う。「生徒たちのほとんどは畜産になじみがないので、1年生のときはとにかく畜産に興味を持ってもらえるように働きかけます。そして、2年生から専門分野の学習に取り組むことで、畜産の奥深さに触れて

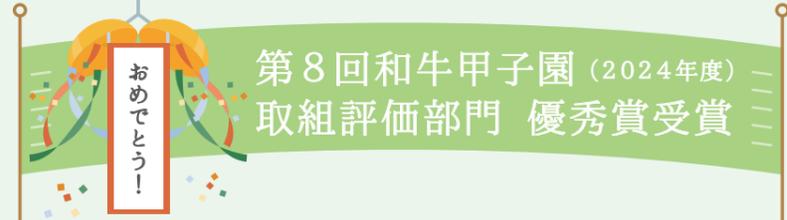
もらうようになっています」  
県内の高校と連携しレベルを底上げ  
和牛甲子園は生徒の知識欲を刺激するのに有効だと辻野先生は言う。「他校の生徒と競い合い、発表することで自分たちの学習の現在地が分かりますし、賞という目標があることでモチベーションが上がります」  
岐阜県で牛を飼養する高校は4校あるが、すべての牛を集めても100頭程度だという。これは畜産の盛んな鹿児島県の高校一つの規模。辻野先生は4校で連携することが、岐阜県の高校のレベルを底上げするのに重要だと考えている。乳牛を飼養する岐阜県農林高等学校で研修したり、

きてみて!

# うちの学校

岐阜県立大垣養老高等学校

西濃地域に立地する岐阜県立大垣養老高等学校は、2005年4月に大垣農業高等学校と養老女子商業高等学校が統合して開校した。同校は和牛甲子園の常連校で、22年度の第6回大会では総合評価部門最優秀賞を獲得。24年度の第8回大会では取組評価部門で優秀賞を受賞し、先進的な取り組みが評価された。岐阜県北部と比較して畜産業がそれほど盛んではない西濃地域において、どのような学習をしているのか。同校の取り組みを取材した。



和牛甲子園で優勝したい、ではなく、まずはこれからの時間のすべてをかけて、肥育の勉強をします!



## 他校の卒業生が指導してくれる

和牛甲子園の歴代の受賞校を眺めると、岐阜県勢の強さが目立つ。その強さの源泉は、学びを底上げする地域の連携だ。先生や卒業生、畜産農家、研究機関や大学など、多くのサポートがあるからこそ、生徒たちも楽しく深く学ぶことができています。

「汚れている飼料は食べないので丁寧により分けます。また、散らばっていると食いが悪いので、寄せてまとめると良いことなどを学びました」と言うように、プロの経験や技術が生徒に惜しみなく伝授されている。

和牛甲子園の歴代の受賞校を眺めると、岐阜県勢の強さが目立つ。その強さの源泉は、学びを底上げする地域の連携だ。先生や卒業生、畜産農家、研究機関や大学など、多くのサポートがあるからこそ、生徒たちも楽しく深く学ぶことができています。

「近年の夏の高温は対策が急務です。センサーで得られた情報や地元企業にいただいた大型送風機などを駆使して、食い止まりがでないようにしたいです」と男子生徒は言う。

### 卒業生や畜産農家による手厚いサポート

岐阜県の高校では種雄牛の系統造成にも取り組んでいる。高校生は3年で入れ替わる。教員もいつ転勤になるかわからない。系統造成で牛をつないでいくことで、他校の卒業生が同校の在校生に指導する機会を作ることができる。

「近年の夏の高温は対策が急務です。センサーで得られた情報や地元企業にいただいた大型送風機などを駆使して、食い止まりがでないようにしたいです」と男子生徒は言う。

「近年の夏の高温は対策が急務です。センサーで得られた情報や地元企業にいただいた大型送風機などを駆使して、食い止まりがでないようにしたいです」と男子生徒は言う。

「近年の夏の高温は対策が急務です。センサーで得られた情報や地元企業にいただいた大型送風機などを駆使して、食い止まりがでないようにしたいです」と男子生徒は言う。

「近年の夏の高温は対策が急務です。センサーで得られた情報や地元企業にいただいた大型送風機などを駆使して、食い止まりがでないようにしたいです」と男子生徒は言う。

「近年の夏の高温は対策が急務です。センサーで得られた情報や地元企業にいただいた大型送風機などを駆使して、食い止まりがでないようにしたいです」と男子生徒は言う。

お姉ちゃんやお兄ちゃんたちは、子牛班、肥育班、飼料班、堆肥班に分かれて仕事をしているよ~



かわいいな~

僕のことは子牛班が世話をしてくれるんだ!



### 和牛甲子園 岐阜県高校の受賞歴

回数	年度	受賞校	受賞部門	受賞内容
第1回	(2017年度)	飛騨高山	総合評価部門	最優秀賞
		加茂農林	枝肉評価部門	優秀賞・優良賞
第2回	(2018年度)	飛騨高山	総合評価部門	最優秀賞
		加茂農林	取組評価部門	優秀賞
第3回	(2019年度)	飛騨高山	取組評価部門	優良賞
		大垣養老	取組評価部門	審査委員特別賞
第4回	(2020年度)	飛騨高山	枝肉評価部門	優秀賞
		大垣養老	枝肉評価部門	優秀賞
第5回	(2021年度)	飛騨高山	総合評価部門	最優秀賞
		大垣養老	枝肉評価部門	優良賞
第6回	(2022年度)	飛騨高山	枝肉評価部門	優良賞
		加茂農林	取組評価部門	最優秀賞・高校牛児特別賞
第7回	(2023年度)	大垣養老	取組評価部門	優良賞
		飛騨高山	枝肉評価部門	優秀賞
第8回	(2024年度)	加茂農林	取組評価部門	最優秀賞
		大垣養老	取組評価部門	優秀賞

### 地域連携



関係各所が連携することで岐阜県全体でレベルアップ!



### 第8回和牛甲子園

取組評価部門 優秀賞 受賞 おめでとう



取組発表「岐阜県の輪~消費者が求める牛肉を目指して」



入学して本当に良かったです。牛をブラッシングすると気持ちよさそうな表情をするのでとてもかわいいです。普通科では味わうことができない貴重な体験をしています!

動物科学科は、困ったことがあればなんでも話し合えるのがいいところ。作業もチーム全員でやります。在学中に家畜人工授精師の資格を取得して、関係機関に就職したいです!

おがわ じんた 尾河 仁太さん

ふじわら ゆい 藤原 結さん

